

令和7年度 林業大学校学校評価に対する外部評価について

1 令和8年2月21日開催 翌検会役員会（保護者会）

(1) 地域活動について

【意見】伊勢神宮式年遷宮の「御杣始祭」に学生が参加したとのことなので、今年度の成果として記載すべき。

【回答】ご指摘のとおり、今年度の成果に加えたい。

(2) 林大の魅力発信と学生確保について

【意見】地元の学生に志願してもらうため、VRシミュレーターなど、地元の高校に向いて体験してもらってはどうか。

【回答】VRシミュレーターは今年度導入し、上伊那農業高校での学校説明に活用した。来年度は木曽青峰高校についても体験できるよう調整していきたい。

【意見】林大のホームページに新入生に対する入寮のお知らせや、高校生に向けたオープンキャンパスの予定など、学校行事の予定が早めに掲載できれば、学生や保護者も安心できるので、ホームページを充実してほしい。

【回答】学校行事予定に関する情報掲載を充実させたい。

2 令和8年3月18日開催 運営協議会（外部有識者）

(1) 全体

【意見】B評価がほとんどだが、自己評価が厳しすぎないか。A評価がもっとあってもよいのでは。

【回答】B評価は「ほぼ目標どおりできた」というものであるため、妥当な評価と考える。

(2) 授業内容について

【質問】「自主研究」課外活動に位置付けられているものか。また、具体的な研究内容は。

【回答】自主研究は授業における実習の単位に位置付けられており、1年次にテーマを決め、2年間かけて取り組んでいる。なお、授業時間で収まらない分は課外活動で行っている。

自主研究のテーマは様々で、今年度の2年生は未利用木材の用途開発や炭焼き、獣害対策など多岐にわたる。

【質問】●（課題）として地元林業士の減少が挙げられているが、改善策としては伊那谷の林業士の方に応援いただくようなことが考えられるか。

【回答】ご質問のとおり、上伊那などの地域に応援いただくこともあるが、来年度立ち上げるチェンソークラブなどのメンバーにお願いすることも対策の一つかと考えている。

(3)学校施設の維持管理について

【質問】●（課題）として学校運営に必要な予算の確保が挙げられているが、具体的にどのような課題があるのか

【回答】経常経費が少ないというところ。毎年予算要望はしているが、施設の老朽化が進み、修繕に思いのほか費用が掛かっている。また、4年前に建替えた男子寮のチップボイラーの維持経費が想定以上にかかっているのが実情。